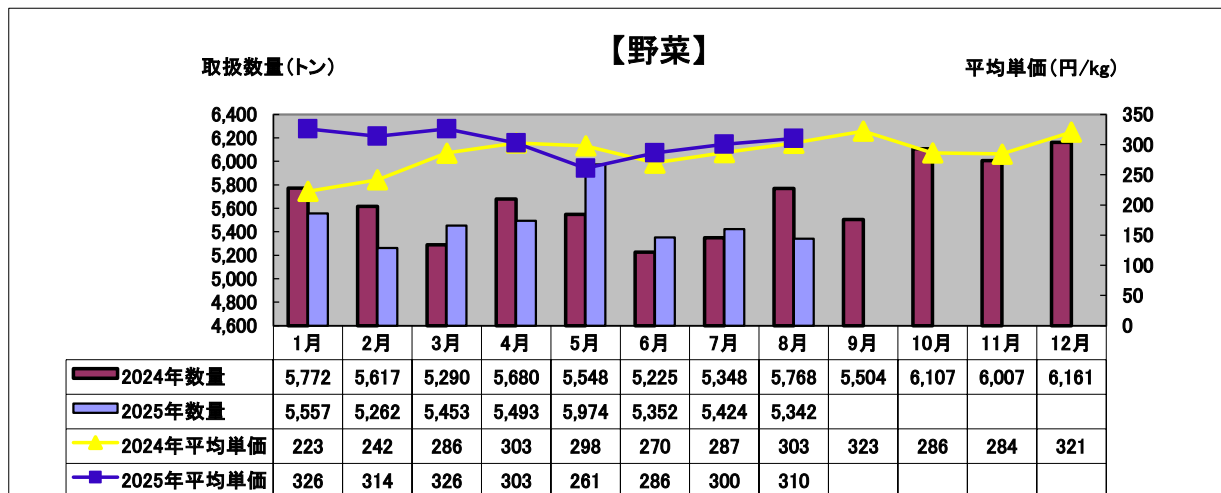
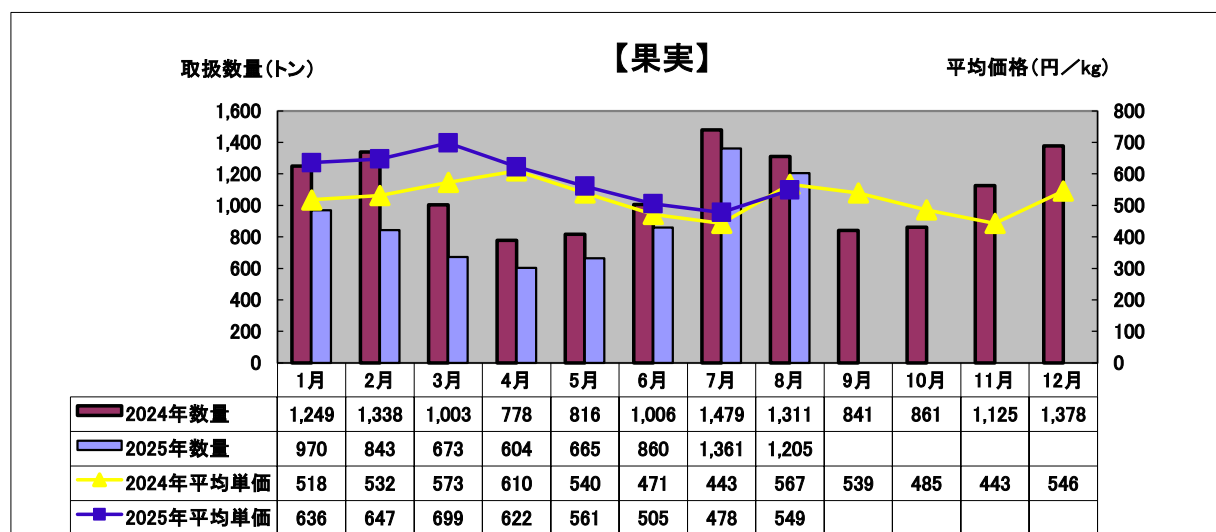


令和7年(2025年)8月 青果部種類別市況



猛暑の影響により、産地廃棄や市場到着時での品傷みが目立ちました。日中の異常なまでの高温から消費者の購買意欲が低下し、スーパーや量販店への買い物客も減少しました。食料品全体の値上げもあり、数量は前年を下回る結果となりました。数量はやや減少、平均単価は平年並みに推移しました。

前年比数量 93%、平均単価 102%で終了しました。



猛暑の影響により、全般的に正常に発育しない果実の発生や小玉傾向にあったことで、数量はやや減少、平均単価はやや安くなりました。

前年比数量 92%、平均単価 97%で終了しました。